

Contents

- 次世代につなぐ活動
専務理事 松井進一
- 第12期事業報告
- 第13期事業計画
- 当会の活動とSDGs
- 新役員のご紹介
- 活動報告「酒林づくり体験」
- 助成先紹介
・NPO法人越の里山倶楽部
- 冬のプログラムのご案内

東洋一と言われる守門岳の大雪庇（新潟県魚沼市・三条市・長岡市）

次世代につなぐ活動専務理事 **松井進一**

皆様には心新たに新年をお迎えのことと存じます。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、イベントなど社会活動の中止、自粛が行われました。当会では自然学校など大部分の事業活動が中止、理事会はリモート参加もできるようなりました。中でも自然保護助成基金成果発表会は、活動された方々のご苦労や成果をお聞きし、交流につながる有意義な場でありました。しかしながら、20年続いた発表会は開催できず、成果発表集の発行のみとなりました。本年はコロナ禍が収束して平常の活動ができますよう願っています。

- さて、当会は2001年の設立当初より、「身近な自然環境を守り次世代につなぐ活動」を目的として次の六つの公益事業を進めてきました。
- (1) こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金事業
 - (2) 身近な里山のモニタリングサイト1000調査事業
 - (3) 渋海川の環境保全のあり方を考える調査研究事業
 - (4) 水と緑の自然学校開催事業
情報誌及びホームページの活用
 - (5)

- (6) 事業
里山の保全と活用機会を伝え広げる事業

最近、SDGs（エス・ディー・ジーズ）という言葉をよく聞きます。それは国連で採択された「持続可能な開発目標」であり、2030年の目指すべき世界の姿を17個の目標で表しています。特に「目標15 陸の豊かさを守ろう」は当会の公益事業の目指す方向です。

我々人間は森林や山地、川や湖、湿地などの様々な生態系、そしてそこに棲む多様な生き物たちに支えられて今日まで暮らしてきました。世の中が便利になるにつれ生き物たちの棲み処が減り、美しい自然の風景が失われ、風土までもが変わってきたように感じます。

これまで当会は285件の個人・団体の皆様へ新潟県内の自然保護活動に対して助成事業を行ってきました。それら一つ一つの地道な活動の積み重ねが水と緑を豊かにし、SDGsの目指すべき姿になっていくものと思います。

本年も一層のご支援を切にお願い申し上げます。

(公財)こしじ水と緑の会
第12期事業報告

(2020年10月1日)
(2021年9月30日)

皆さまのご支援により、第12期は次の活動を行うことが出来ました。ありがとうございます。

1. 助成事業

「第20回こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金」を実施しました。公募を行い、選考委員会で決定された9件に対して、計2,448,000円の資金助成を行いました。第18回助成事業成果発表会は開催せず、成果発表集を発行しました。

2. モニタリングサイト

1000

本事業は、朝日城の森周辺地の生き物調査を継続して行うものです。

① 鳥類調査

通常越冬期2日間、繁殖期2日間行うところですが、コロナウイルスの影響で、2021年6月に繁殖期の1回のみ調査を行いました。

② 植物調査

2020年10、11月、2021年6、8月に毎月1回、新潟県自然観察指導員の会の方々の協力を得て、植物の開花結実調査を実施しました。

3. 河川環境の調査研究

2021年9月4日に、「こしじ水と緑の会研究報告第1号」～「里山の魚類相」をテキストに「里山・里川の動物相」の講座を計画しましたが、長岡市のコロナ特別警報発令のため中止としました。

4. 水と緑の自然学校

環境教育に関する事業として、毎年開催していますが、今期はコロナウイルスの影響で、2回が中止となりました。

① 酒林づくり体験

(2020/10/24) 参加7名

② ツリークライミング体験

(2021/5/9) 参加21名

③ 草花遊び

コロナウイルスの影響で中止

④ 昆虫観察会

コロナウイルスの影響で中止

5. 情報発信・普及啓発

① 「こしじ水と緑の会情報誌」第60号～63号まで発行しました。
② ホームページをリニューアルしました。情報量を増やし、今までの植物調査結果なども閲覧できるようにしました。

6. 里山の保全・活用

① 越路の森を会場に「春の里山に親しむ会」を開催しました。
(2021/4/24) 参加16名
講師 渡辺茂氏

② 里山自然教室

里山の自然を座学で学ぶ講座を緑の家を会場に開催しました。雪とのつきあい方
(2021/2/6) 参加7名
講師 山下克也氏(雪氷防災研究センター特別研究員)
・秋の草花
コロナウイルスの影響で中止

③ 朝日城の森の草刈などの森林保全管理を事務局にて行いました。

④ 越路の森の植生調査および自然観察コースの整備を行いました。



ツリークライミング体験

第12期 決算

(2020年10月1日～2021年9月30日)

収入の部

(単位：円)

科 目	決算額
1 基本財産運用収入	1,695,043
2 会費収入	1,376,000
3 補助金等収入	4,791,448
4 雑収入	72,736
経常収益計	7,935,227

支出の部

(単位：円)

科 目	決算額
1 事業費支出	4,317,594
(公1)助成事業費支出	2,418,953
(公2)モニタリングサイト1000調査研究費支出	22,430
(公3)渋海川調査費支出	0
(公4)自然学校運営費支出	436,196
(公5)HP及びび情報誌等発信費支出	600,146
(公6)里山活用モデル事業費支出	839,869
2 管理費支出	6,283,896
経常費用計	10,601,490
当期経常増減額	△ 2,666,263

財 産 目 録

(2021年9月30日現在)

【資産の部】

(単位：円)

1 流動資産	
普通預金	8,872,746
未収金	0
流動資産合計	8,872,746
2 固定資産	
(1)基本財産	
普通預金	23,884,497
定期預金	37,044,000
有価証券	68,150,000
土地	115,312,597
基本財産合計	244,391,094
(2)特定資産	
山林取得積立預金	15,174,001
特定資産合計	15,174,001
(3)その他固定資産	
その他固定資産合計	31,553,232
固定資産合計	291,118,327
資産合計	299,991,073

【負債の部】

(単位：円)

1 流動負債	
前受金	4,000
未払金	25,435
流動負債合計	29,435
負債合計	29,435
正味財産	299,961,638

**(公財)こしじ水と緑の会
第13期事業計画**

(2021年10月1日～
2022年9月30日)

第13期は、法人運営の持続可能性に配慮しながら、各公益事業の着実な実施に努めます。

1. 助成事業

「第21回こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金」を実施します。本助成事業は、公募を行い選考委員会で決定するもので、新潟県内での実践活動や調査研究活動を支援します。

2. モニタリングサイト

1000

① 鳥類調査

越冬期および繁殖期の調査を継続して実施します。

② 植物調査

積雪期を除き、基本的に毎月1回、新潟県自然観察指導員の会の方々の協力を得ながら実施します。

3. 河川環境の調査研究

「研究報告第1号」澁海川の魚類相」をテキストに、里山・里川の生きものに関する講座を開催します。

4. 水と緑の自然学校

環境教育に関する事業として、子どもから大人までを対象に、朝日城の森などを会場に開催します。

① 酒林づくり体験

(2021/10/23実施、参加11名)

② ツリークライミング体験

(2022/5/中旬予定)

③ 草花遊び

(2022/6/中旬予定)

④ 昆虫観察会

(2022/8/下旬予定)

5. 情報発信・普及啓発

① 当法人の活動などの情報を伝えるため、情報誌を年4回発行します。

② ホームページの情報更新に努めます。

6. 里山の保全・活用

① 里山の自然への理解を深める

「春の里山に親しむ会」(2022/4/下旬予定)を「越路の森」にて開催します。自然観察を通して自然に親しみ、里山の自然への理解を深める機会を提供します。「越路の森」の公益目的利用の一つとします。

② 朝日城の森の草刈作業などの定期管理を実施します。また、所有する山林の植物の現況調査などをを行います。

③ 「越路の森」の公益利用の一つとして植生調査を実施します。調査データは将来的に公開することを目指し、データを蓄積します。

④

「緑の家」を会場に、里山の自然に対する知識を深める公開講座「里山自然教室」を開催します。



春の里山に親しむ会



ユキツバキのぞうり (春の里山に親しむ会)



里山自然教室「雪とのつきあい方」

今期も変わらぬご支援をよろしく
お願いいたします。

第13期 予算

(2021年10月1日～2022年9月30日)

収入の部

(単位：円)

科目	予算額
1 基本財産運用収入	1,695,000
2 会費収入	1,320,000
3 補助金等収入	6,500,000
4 雑収入	150,000
経常収益計	9,665,000

支出の部

(単位：円)

科目	予算額
1 事業費支出	5,810,000
(公1)助成事業費支出	3,210,000
(公2)モニタリングサイト1000調査研究費支出	200,000
(公3)渋海川調査費支出	60,000
(公4)自然学校運営費支出	710,000
(公5)HP及びび情報誌等発信費支出	690,000
(公6)里山活用モデル事業費支出	940,000
2 管理費支出	6,790,197
経常費用計	12,600,197
当期経常増減額	△ 2,935,197

当会の活動とSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



当財団は、公益事業を行うことでSDGsのゴール達成に向けて取り組んでいます。持続可能なより良い世界を目指すために、2022年も活動を進めて参ります。

GOAL	公益事業
4 質の高い教育をみんなに	公1助成事業、公4水と緑の自然学校
14 海の豊かさを守ろう	公1助成事業
15 陸の豊かさも守ろう	6つの公益事業すべて
17 パートナーシップで目標を達成しよう	公1助成事業

新役員のご紹介

役員の変更がありましたのでご報告いたします。今期より新たな理事2名をお迎えしました。

○理事（11名）

- ・ 理事長 平 澤 修（朝日酒造株式会社 顧問）
- ・ 専務理事 松 井 進 一
- ・ 理事 浅 野 透（森林研究・整備機構 理事長）
- ・ 理事（新任）五 十 嵐 実（日本自然環境専門学校 学校長）
- ・ 理事 及 川 紀久雄（新潟薬科大学名誉教授）
- ・ 理事 大 熊 孝（新潟大学名誉教授）
- ・ 理事 粕 谷 与止男（元岩手県立大学教授）
- ・ 理事（新任）紙 谷 智 彦（新潟大学名誉教授）
- ・ 理事 平 澤 聡（朝日酒造株式会社 非常勤取締役）
- ・ 理事 平 澤 新太郎（朝日酒造株式会社 取締役地域事業担当部長）
- ・ 理事 山 本 麻 希（長岡技術科学大学准教授）

○監事（2名）

- ・ 監事 藤 井 英 雄（パートナーズプロジェクト税理士法人 代表社員）
- ・ 監事 中 山 隆（中山綿業株式会社 代表取締役社長）

活動報告 「2021/10/23酒林づくり体験」

杉葉の爽やかな香りに包まれながら、2021年も「酒林づくり体験」を無事に開催することができました。



新しい「酒林」は新酒のできた印です。2021年は全国的にコロナウイルスの感染拡大が止まらず、長岡市でもコロナ特別警報が発令されました。開催できるか不安な状況ではありましたが、多くの方にご参加いただき、今年も素敵な酒林ができました。



講師をつとめていただいた朝日酒造製造部醸造課の西脇久史さん、横山和人さんありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。

（事務局）

助成先紹介

人と里山のより良い

関係づくりをめざして

NPO法人 越の里山倶楽部
専務理事 河合佳代子

越の里山倶楽部は『人と里山の良き関係を取り戻すため「雪国の里山」の自然を守り育て、次代を担う子ども達に里山の魅力と大切さを伝えていきます』と宣言し平成17年12月に設立、翌年5月に法人登録した特定非営利活動法人です。

現在の主な活動フィールドは長岡市にある国営越後丘陵公園里山フィールドミュージアムです。越後公園管理センターからの受託を受け、里山フィールドミュージアムにある田畑の管理、保全作業などのフィールド整備を行っています。そのフィールドの利活用として行っている主な体験イベントは以下の通りです。

- ・ 季節ごとの「里山ガイド」や、毎月1回開催する自然を感じながら歩く「里山自然感察会」
- ・ 生きものとのふれあいを演出する「バードウォッチング」「田んぼの生きもの観察会」「ホタル観察会」「昆虫観察会」「昆虫標本づくり」「きのこ観察会」
- ・ 江戸時代の建物を移築した茅葺き屋根の古民家においては「ゼンマ

イもみ体験」「ワラほうき作り」「干し柿づくり」「古民家囲炉裏端のお話会」

・ 里山の文化にふれる「笹だんごづくり」「草木染め体験」「カニコの飼育と展示解説」

特に田んぼは、無農薬・有機栽培を基本とし、多様な生き物と共存できる環境づくりをしています。田んぼの生き物観察などでは多くのカエル類（アマガエル、ツチガエル、アカガエル、トノサマガエル、シュレールゲルアオガエルなど）を採集して観察することができます。各種水生生物も観察することができます。フィールドとして、学校団体の学びの場にもなっています。そのために地元農家の指導のもと、一緒に田んぼ作業をしていただくボランティア「里山協力隊」があり、30名ほどの皆さんと春の溝きりから田植え、草取り、稲刈り、はぎ掛けをして天日干しのお米を作る田んぼを整備しているのです。

日本の原風景の一つと言われる里山は、長い時間かけて地域の人が自然と寄り添いながら作り上げてきた自然環境です。「雪国里山」の自然環境は特有の文化と人々の豊かな感性も育んできました。その環境は多くの人の手が加わることで作られて

います。今その里山環境を多くの人に利用してもらい、遊び、学びの機会を作り出すことが里山を守り、育てることになると考えます。

昨今話題にもなるSDGsに照らし合わせてみても、里山の活動は「3すべての人に健康と福祉を」「4質の高い教育をみんなに」「5ジェンダー平等を実現しよう」「15陸の豊かさを守ろう」「17パートナーシップで目標を達成しよう」などにもあてはまるでしょう。

懐かしいだけではない、未来的思考で雪国里山に関わり、里山の生き物、文化、知恵を次世代に渡すための活動を続けています。ウィズコロナの時代がもう少し続きそうですが、里山で一緒に汗かき、学び、楽しませんか？自然案内に興味がある方は『里山ガイド』、子ども達に自然のことを伝えたい方は『学校団体対応スタッフ』、昔ながらの田んぼの活動に興味がある方、里山文化を学び伝えたい方は『里山協力隊』へどうぞご参加ください。お問い合わせ、お待ちしております！

(<https://koshi-sato.com>)



冬のプログラムのご案内

里山自然教室「雪とのつきあい方」

幹線道路の大渋滞を引き起こし、除雪や雪下ろしに時間と体力を使い、通勤通学に危険が迫る雪氷災害。雪について学び、雪害研究や雪に関する情報発信の現状を学ぶことで、雪氷災害から身を守るヒントをみつけようという講座です。雪氷防災研究センター研究員の伊藤陽一先生を講師にお迎えし、雪の実態やメカニズムの研究状況、刻々と変化する気象状況の情報解析状況や発信状況などを解説していただきます。

日時 2月5日(土) 9:30~11:00 / 集合: 緑の家

■講師 伊藤陽一氏(雪氷防災研究センター研究員)

■対象・募集

里山の自然に興味のある方(中学生以上) 20名(先着順)

■参加費 ¥300(保険料など) / かしじ水と緑の会会員は¥200

■お申込

事務局まで参加される方のお名前、連絡先の住所、電話番号をお知らせ下さい。後日、詳しいご案内をお送りいたします。

■申込〆切 2月2日(水)

■お願い

- ・参加にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策のため手指の消毒、マスクの着用にご協力ください。
- ・当日37.5℃以上の発熱や体調不良がある場合、感染者との濃厚接触の可能性がある場合、またご家族の中にこれらにあてはまる方がいらっしゃる場合は参加をご遠慮ください。



画/松井了

※新型コロナウイルス感染拡大の状況などにより、中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
収束の見えないコロナウイルスですが、折り合いをつけながら活動を進めてまいります。本年もよろしく願いいたします。(拓)

会員動向 (2021年11月30日現在)

会員470(個人407、法人63)

引き続き、ご支援のほど宜しくお願い致します。

ご寄附ありがとうございました

(2021年10月1日~11月30日、敬称略・順不同)

根本タマエ、山際岩雄、山際由布、平澤清子、吉原印刷(株)、齊藤允昭、反町和夫、片岡ユミ子、(株)長建設計事務所、野地英子、(株)グロー、坂田俊行、中西克人、市井昌子、安達政晴、山崎知則、小林純子、松井進一、山崎文雄、細田眞司、大塩正二、遠藤泰弘、金内正子、(株)陸送北越、浅井秀雄、越後門出和紙、永井功夫、永井眞紗子、荻原彩子、平澤修、駒形哲也、金安健一

公益財団法人

かしじ水と緑の会



本誌は再生紙を使用しています
植物油インキを使用しています

〒949-5412 新潟県長岡市朝日595番地5 電話・FAX 0258-92-5238
HP <https://www.koshiji-nf.org> E-mail info@koshiji.org